

トップ不在3週間 異常事態にピリオド

福島町 新教育長 ぎょう選任

【福島】福島町は町議会で教育委員2人の選任同意が得られず、1日から教育長不在の異常事態に陥っていたが、20日の臨時町議会で、町が提案した町総務課長(同日付で退職)の丁子谷雅男氏(58)、福島郵便局長の高田重美氏(52)の人事案が無記名投票でともに同意された。新教育長は21日午前の教育委員会で選任されるが、関係者によると、丁子谷氏が選ばれる見通し。3週間続いた教育行政トップの「空白」期間にやっとピリオドが打たれる。

(田中陽介)



町は9月の定例町議会で、任期満了に伴う現職教育長(62)と教育委員(59)の再任を提案。議会は無記名投票で採決し、ともに不同意としたが、この真意が判然としなため、町民からは「なぜ無記名投票で新教育委員を選任した福島町議会。奥は投票の行方を見守る村田町長

同意なのか明確にするべきだとの疑問の声が出ていた。これに対し、議会側からは「教育の重要さを思えば思うほど、この任命は慎重にならざるを得ない」などとする意見もあった。

この日、町議会は新人事案についても前回同様、無記名投票で採決。丁子谷氏が賛成11、反対0。高田氏は賛成6、反対5だった。

投票直前には、新人事案の根拠を問う質疑が議員から相次ぎ、議場は一時紛糾し、この人事案2件に開会から閉会までに57分間を費やした。村田駿町長は「両氏は誠実で教育にも熱心。町の教育行政に真剣に取り組み、力になってくれるはず」とし、前回の不同意については「これまで頑張ってくれた2人には申し訳ない思いがある。わたしも何らかの責任を感じている」と述べ、提案への同意を求めた。